

磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会（第4回）議事録

平成27年1月19日 13:30

磐田市役所本庁舎 大会議室

出席者

委員：青島美子、小栗 華、小野泰弘、三枝幸文、杉田友司、鈴木正典、  
高木昭三、鳥居 勤、永井聡子、橋本安弘、村上勇夫

事務局：企画部長、秘書政策課長、市民部長、文化・体育施設等整備室、  
文化振興課

1 「今後の文化施設等のあり方について（案）」の確認・・・事務局より説明

2 意見交換

（委員長）

只今説明のありました提言案につきましてご質問、ご意見等ありましたら、よろしく  
お願いいたします。

（委員）

当委員会で提言をまとめた後、今後、市長に、この提言説明をするということになる  
と思うが、市民に向かっては、この文化施設のあり方についてどのように説明するのか。  
竜洋とかアミューズとかの既存の施設は、原則として大規模修繕が必要となった時点で  
閉館するというところはいちばん問題になっていくところなので、一元化するところ  
に至った経過についてどのように市民に説明するのか。

（事務局）

今後委員の代表の方々より、市長のほうに提言書をお渡しいただくが、その際には、  
メディアの方々を呼んで行う。そのほかに、提言書としてホームページにアップする  
という形でお示しする。一元化の部分については、現在我々事務局の方で、この文化施設  
とは別に、公共施設の総合管理計画というものを取りまとめているので、それと関連付  
けながら、将来的なことについて説明をさせていただく。

（委員）

2番に「市民文化ホール等」と書いてあるが、アミューズでいうと体育館とかそうい  
うところまで含めているのか。今後アミューズを閉館することになると、体育館とかも  
全体を含めて閉館するということになるのか教えてほしい。4の市民文化会館の施設の  
規模というところにも、「併せて小ホールの併設等」と書いてあるが、この「等」にも、  
体育館等も入っているのか教えていただきたい。

（事務局）

本委員会は、文化施設のあり方に関する委員会なので、4つの文化ホールと文化振興  
センターのことを表している「等」であって、体育施設等については、また別のもの  
である。文化振興センターがあるので、「等」を入れたということである。

（委員）

今ここで閉館される可能性があるというところには、アミューズの体育館は入らないという考え方でよろしいか。

(事務局)

この会において、体育館については一切話し合いはさせてもらっていないので、入らない。

(委員)

体育館の話が出たが、体育館についてはここの場で議論しないということであって、それを廃止するかどうかは、公共施設の検討の中で議論するという意味でよろしいか。そうしないと体育館は全然閉鎖しませんということになってしまう。

(事務局)

スポーツ施設等、公共施設には様々なものがあり、今その公共施設のあり方に関して、基本計画等を作っているわけだが、おっしゃる通り体育館については、閉鎖するというものでもないし継続するというものでもない。ここでは、一切言及しない。もちろん公共施設のあり方は別の部分、別の視点で考えていかなければいけないということになる。

(委員)

「はじめに」の6～7行目に、「文化芸術を発信し・育て広げる場」というところがあるが、磐田市の芸術計画の中には「継承」ということがあるから、「育て広げる」というばかりではなくて、「継承する」ということも必要なのかなという感じがする。例えば「育て、広げ、継承する場」というように「継承」という言葉が入った方がいいのではないかという気がした。また、磐田市というのは、必ず冠むりにキーワードとして、「歴史文化の薫るまち」というものが付く。文化に関わる施設についての「はじめに」なので、磐田市のことを表現する前に、「歴史文化の薫るまち」という言葉がどこかに入った方が磐田市の施設の検討委員会らしいかなという印象を持った。例えば、下から4行目のところに、「変革の時代であります、歴史文化の薫るまち、磐田市の市民が将来に希望を持ち・・・」というような形で入れ込むとか、磐田市がそういうまちなので、その言葉が入った方がいいかなという印象はもった。

(事務局)

「育て、広げ、継承する」というのはよいと思うが、「歴史文化が薫るまち」という表現のところを、4行目に入れるか一番最初に入れるかということについては検討する。

(委員)

いちばん最初の「磐田市は・・・」というところは、歴史文化がどうだということよりも自治体として磐田市の在り様をここで言っているから、ここで歴史文化がどうだというのは妥当じゃないかなと思う。他に磐田市が出てくるところがあまりないから、下から4行目がいいのではないかと思った。

(委員)

言葉遣いの問題として、「はじめに」のところの下から3行目に「文化振興」と書いてあるが、「文化芸術」なのか「文化振興」なのか多少こだわりを持った方がいいのではないかと思う。「文化芸術」というとかなり高尚的なイメージがあるが、「文化」というと世俗的な部分まで入ってくるという感じがする。

(事務局)

ご指摘があった「歴史文化の薫るまち」という言葉を入れていくということも踏まえて、「文化」といういろいろなものがあり、広い意味になってくるので、「芸術」まで入れ、「文化芸術」にしたい。

(事務局)

「文化」という言葉は、かなり幅広いイメージを持たれると思う。文化ホールについてこれから考えていくということになると、間違いなく「文化芸術」という位置づけがでてくる。その点からも、「文化振興」と「文化芸術」の使い分けについては、整理をきちんとしていきたい。

(委員)

2ページに「文化芸術振興の中心的役割を果たす」と書いてある。役割についてはいろいろあるかと思うが、現在想定されている主な役割についてご紹介していただきたい。

(事務局)

提言の方に「文化振興センターの機能……」という言葉もあるが、今、市民文化会館と文化振興センターの建っている区域がまさしく文化振興における拠点として、中心的な役割を担っている。現時点で文化振興センター、市民文化会館はそうになっていくということは間違いない。

(委員)

現在の文化振興センターの機能をつくるということも含めて考えていくということでもよしいか。

(事務局)

今の文化ホール等のあり方の文章の最後のところに、「文化振興センターの機能についても検討する」と書かせていただいている。造るか造らないかというのはここではっきりと言えないが、来年度の検討委員会で検討するというごことをご理解いただきたい。

(委員)

文化施設のことで議論するわけだから、そういう施設も必要だということをこの委員会でまとめ、それに基づいてあり方ということにつなげていかなければいけないと思う。来年度の検討委員会で造るか造らないかを話し合うことはおかしいのではないか。この委員会の中でちゃんと議論をしないといけないと思う。その議論に基づいて、造るとすればどのようなものにするかを話し合う、基本的には今ここでいう振興センター的な要素のものが、必要であるのか必要でないのかそこをはっきりしておかなければいけないと思う。

(事務局)

文化振興センターの機能そのものは残して、市民文化会館と同様に考えていくことは間違いない。ただ、建物をどうしていくかというのは、検討していく余地はある。

(委員)

今後、大規模な修繕が必要になった時には閉館するという話だが、その大規模というところでもめるということが心配される。新市民文化会館建設に関わる検討機関において、このことが議論されるのか。先ほど、文化振興センターの機能は残すという話もあったが、機能がちゃんと補完されるのかということも含めて閉館できるのかということも多分議論にはなっていくと思う。そのあたりのことをある程度教えていただきたい

い。

(事務局)

この提言を市長が受け取って、メディアがどのように新聞に載せるかということだが、「新しい文化施設は造る。」「他の施設は将来的に一元化する。」というような内容におそらくなるだろうと思う。今後、平成 52 年、あと 25 年くらいで昭和 55 年並みの人口に減ってしまう。そういった部分も含めて一元化ということは入れさせていただきたい。「何年」「どのように」というような具体的なことに関しては、一旦小規模修繕をさせてもらって、その後 15 年くらいとか 20 年くらいというようにお話しさせてもらっているので、そういった部分について質問等があったら、そのようにお答えしていこうと思っている。文言で 15 年とか 20 年ということ表現するというのは難しい。ただし、公共施設の総合管理計画というのも作っているのだから、そういった部分については、もう少し細かくしていくべきと思っている。

(委員)

旧の町が持っていた施設については、今回の提言の中で方向を示しているが、そもそも今の市民文化会館自体は、いつごろというのが入っていない。ある程度、時期的なものを入れる必要はないのか。

(事務局)

市民文化会館の建設の工程表のようなものか。

(委員)

その他の方については大規模修繕が必要になった時に閉館すると言っている。財政問題のところでは制約は若干出てくると思うが如何か。

(事務局)

この提言を受けて、市の方で方針を確定していく。その段階で間違いなく方向性や具体的な時期についてなどはこの提言とは別に表明するのは間違いのないと思うので、そこで対応するというごことご理解いただきたい。

(委員)

4 つのホールがいずれ集約されるということだと、新しく造る市民文化会館のグレードをどうするかということが気になる。グレードについては、ある程度出しておいた方がいいのではないかなと思う。時期については、「建て替え計画に一定の目処が立った時点で閉館する」と書いてあるのでそれはそれでいいが、4 つを集約して造るとなるとグレードは載せておく必要があるのではないかなと思う。

(事務局)

これまでの話し合いの中で、収容人員のところを 1,200 ~ 1,500 人と表記させてもらっているので、それがある程度グレードの目安になると思っている。「磐田市が一つとなって文化芸術を振興・発展させていくための中心的役割を果たすことを期待する。」、17 万都市の中心的な文化芸術の発信の場所ということで、この文章を入れた。グレードというのは、なかなか入れづらいと思っている。収容人員の表記でということ如何か。

(委員)

小ホール等の併設等も視野に入れて検討するというのも入っているので、そのところで、大ホールと小ホール、または中ホールか小ホールか、このことでグレードを示

すことができるのではないかと思う。例えば、竜洋のなぎの木会館にしてもアミューズ豊田にしても、小さいホールというものはあるわけで、そういうものも必要だと思う。そういうものが今後なくなっていくのだったら、やはり中心的な所に小ホールも必要なのではないかなと思う。

(委員)

1,200 だとか 1,500 だとか人間的な問題はいいが、質の問題だと思う。新市民文化会館は、こういう売りがあるということが大事である。

(委員)

どうのように文言をつくるのかっていうところが、大事なところかなと思っている。1の「文化行政の必要性、重要性」のところに「文化施設は、市民にとって様々な文化芸術を身近で鑑賞・体験・交流する、文化芸術を発信し・育て広げる」と掲げているが、わりと曖昧なのかなという印象がある。文化芸術を発信するというのは何をどのように発信することを目指しているのかというところが、「質」を示す部分であるのかなと思う。そうすると、「文化芸術を創造し」という言葉も入れるか入れないかということも大きいのではないかと思う。これだけ見ていると、東京で創ったものをもってきて鑑賞する、あるいは、身近なところで交流するというところで止まる可能性もあるので、どこかに「創造する」ということを入れた方がいいのではないかと思う。

(委員長)

委員の皆さんからいろいろと意見が出ていますけれども、今回の市長への提言というのは、結局、「一つに集約する。」ということと「他のところは、おいおい閉館の方向でいく、そして市民文化会館は、市の象徴的なものであるので建て替える。」要は、そこまでということだと思えます。それ以外の時期的なもの、それからグレードの問題、それらは今回次第の(2)の「新磐田市民会館の整備に向けて」というところで皆さんから意見を伺い、来年度スタートする建設関係の委員会に反映させるといような形でいきたいというように思っているわけです。ですから、今まで皆さん方に意見を伺っておりますけれど、そういう内容のことは(2)の方で発言していただければと思います。そこで、話をもとに戻しまして、今回の提言について、何かご意見とか文章のこの辺りがわからないから説明してほしいというところがあれば、お願いします。

(委員長)

それでは、質問や意見がないようであれば本案を本委員会の最終案として、市の方に提言させていただきたいと思えます。方法等につきましては、最後に事務局よりご案内させていただきます。事務局から何かありますか。

(事務局)

この案に対して、「歴史文化の薫るまち」という言葉、「継承する」という言葉、それから「文化を創造する」という言葉をそれぞれもう一度入れ、皆様の方に直接お持ちするか郵送するかメールするようにし、ご確認をいただくような形にしたい。内容はこれでいくということによろしいか。

(委員) 全員うなづく。

(委員長)

それでは、ここからは次第の(2)です。新磐田市民文化会館について、ご意見を伺

いたいと思います。まずは、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

これまで、文化ホール等の今後のあり方について、ご審議をいただきましてありがとうございました。本委員会の審議は終了いたしまして、提言の実行を残すだけとなりました。先ほど言いました3つの項目の文言を直しまして、ご確認いただいたうえで、後日提言の実行をしたいと思います。ここからは、この提言とは別に、今後組織される新市民文化会館の建設にかかる検討委員会について、これまでも意見をいただいておりますが、さらに参考にするために改めてご意見をいただく機会を設けさせていただきました。市民文化会館を整備した場合、先程委員長からも説明がありましたけれども、いくつか忌憚のないご意見があると思いますので、お願いできればと思います。

(委員長)

例えば、建設予定地としてどんな場所がいいとか市民文化会館に求める機能と言いますか、舞台芸術に特化した方がいいだとか、展示機能はどうするのだとか、今までも折に触れて意見は出ていますけれども、それから小ホールについてどう思うのか、施設の規模、それらを含めたグレードの問題など、次の新しい委員会に皆さん方のご意見を反映させるためにも、忌憚のないご意見を伺いたいと思います。

(委員)

建設の場所だが、今の場所は地盤が悪い。昔あそこに建設されるときに周りの人たちが本当に驚いたというほど地盤が弱いところなので、是非、別の所、地盤のしっかりしたところに建ててほしい。

(委員)

人が行きやすいということも考えて新しくしていただきたい。

(委員)

前の市民文化会館ができたときに、タイムカプセルを確かに入れてある。おそらく他の公共施設でタイムカプセルを入れたということはないと思う。それだけ、当時の磐田市にとっても市民文化会館に対する思い入れというのは、執行部をはじめすごいものがあったのではないかと。そういう意味で、右肩上がりの時代ですらそうなので、今回は、特にいろいろな意味で整理をさせる中で、それでも造ろうという市民会館、先程グレードの話もあったが、財政の許される中でできるだけいいものを造ってほしいなという思いはある。文化芸術というのは非常に幅広いもので、歴史文化もあれば展示芸術等もある。できるだけ幅広い視野で活かされるようなハードであってほしい。

(委員)

その会館を中心にして、その会館から文化として発信していく場所なので、10年先くらいを見て磐田市の都市計画いわゆるマスタープランとの絡みの中で、どこに設置をしていくことが磐田市全体としていいのか、そういう観点で位置づけをしながら、建設場所を考えていく必要がある。

(委員)

これから少子高齢化が進む世の中で、磐田市の文化プランが明確になり、その中でこの文化会館の果たす役割や機能についてはきちんと議論して、それにふさわしい施設、設備なりを備えていただきたい。特定の人だけが使うのではなく、市民や西部地区の人

たちから、あその施設はいいと言われ、磐田市民みんなが誇れるような、そんな会館になればと思う。

(委員)

人口減少社会の中で、いつまでも磐田市と言っている時代ではなくなってくるだろうと思う。そういう点では、人が集まりやすい場所、そういうところへ建ててもらいたい。また、この周辺の中でもよりレベルの高いものができるというようにしていきたい。そのためにも、人がより集まりやすい場所がいいと思う。

(委員)

位置づけとしてはマスタープランの中で決めていったらどうだということはまさにその通りだと思う。他市も含めた中での位置づけも考えていく必要もあるし、更にはどこに造るにせよ、そこでの地域の人防が防災の時にも使えるような機能もちゃんと織り込むというようなことも大切なことだと思う。グレードについては、必要なことだとは思いますが、分かりにくいので、検討する場合にはどういう公演が呼べるかという観点で考えると分かりやすいのかなと思った。

(委員)

新駅ができるのであればそれも踏まえて考えていただきたいし、新東名のスマートインターチェンジのできる豊岡に思い切って造ってそちらの方に人が来るようにするとか、そういったことも考えていただければと思う。駐車場も何台収容できるのかということも明記した方がいいかなとも思う。浜松は音楽が主ということで売り出している。音楽に関しては浜松の方に譲ってしまって全然問題ないと思うが、磐田にも何かある分野で特化したところがあった方がいいのかなと思う。例えば、ここ2年くらいダンスフェスティバルが行われているが、ダンスをやるには非常によいとか舞台装置として回転舞台があるとか舞台の奥行きがものすごく深いとか、どこか特徴を持たせたような施設の方がいいのかなと思う。

(委員)

一市民としてはやはり使いやすさ、それから体験・交流しやすい文化施設ということを目指して取り入れていただきたい。文化振興センター機能も取り入れ、ホールにとらわれることなく、使いやすい、それから体験・交流しやすい場所にしてほしいと思う。この文化施設検討委員会の前段で、稼働率というのが話題になったが、その稼働率の中で、かなり練習に使用しているのが多かったように思う。そういう意味で、練習するスペースというのも考えて建設していただけたらと思う。

(委員)

特徴のある施設だといいなと思う。演劇でも音楽でもいいが、何かに特化していて、磐田に来ると他とは違うものが観られたり造れたりする。それが、引き金になってもっといろいろな人が来るようになる。回り舞台をつくるのかせりなのかということかなりお金との関係もあると思うが、こういった舞台をこの会館だったらやれるだろう、やりたいというのがわりと明確になるといいのかなと思う。1,200 か 1,500 と小ホールということが出ているので、大ホールと小ホールにするならば、小ホールがどういう位置づけなのかというのを考えて計画すると使いやすさや交流のしやすさということにつながってくると思う。小ホールがなんでも使える空間なのか、100席の空間なのか、200席な

のか、映像ホールなのか、いろいろな使い道があると思うが、その位置づけが明確になるといいホールができる。

(委員長)

今皆様方からご意見をいただきましたけれど、事務局の方で整理をしていただき、提言とともに市へ参考意見として提出していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。